

# 記入例

## 様式第2（第1条関係）

建築物概要書							
敷地の現況		現況傾斜		有・無	隣地の地盤との関係	隣地地盤より +0.5～+1.0m	
敷地と道路との関係		高低差：道路より+0.5メートル				幅員	6.0メートル
既存建築物の種類とその面積		なし					
風致地区の区分 (建ぺい率)		第1種〈20%〉(a)		第2種〈30%〉(b)		第3種〈40%〉(c)	
区分別敷地面積		—		361.0 m <sup>2</sup>		—	
敷地の合計面積(A) =(a)+(b)+(c)		361.0 m <sup>2</sup>		敷地に建築可能な建築面積 を敷地面積で除した数値		0.3	
建築面積(B)		98.5 m <sup>2</sup>		建ぺい率 (B)/(A)		27.3 %	
建築物の高さ		8.1 m		敷地の所有別		自己所有地・借地	
建築物から境界線までの距離		道路までの距離		2.5 m			
		その他までの距離		1.5 m			
建築物の用途		専用住宅		工事の種別		新築・改築・増築・移転	
建築物の意匠	屋根	仕上材料	和瓦葺		色彩	いぶし銀	
	外壁	仕上材料	防火サイディングさ 杉板(木材保護塗料塗)		色彩	サイディング：淡いベージュ 杉板：こげ茶	
主要構造		木造・コンクリートブロック造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造 ・その他( )					
その他参考事項							

- 備考 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 工事の種別が改築の場合は、建築物の高さの欄に改築前の高さを併記すること。
- 3 必要があるときは、所要事項を調整して使用することができる。